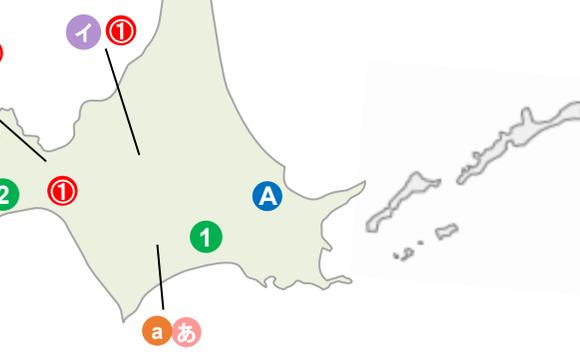
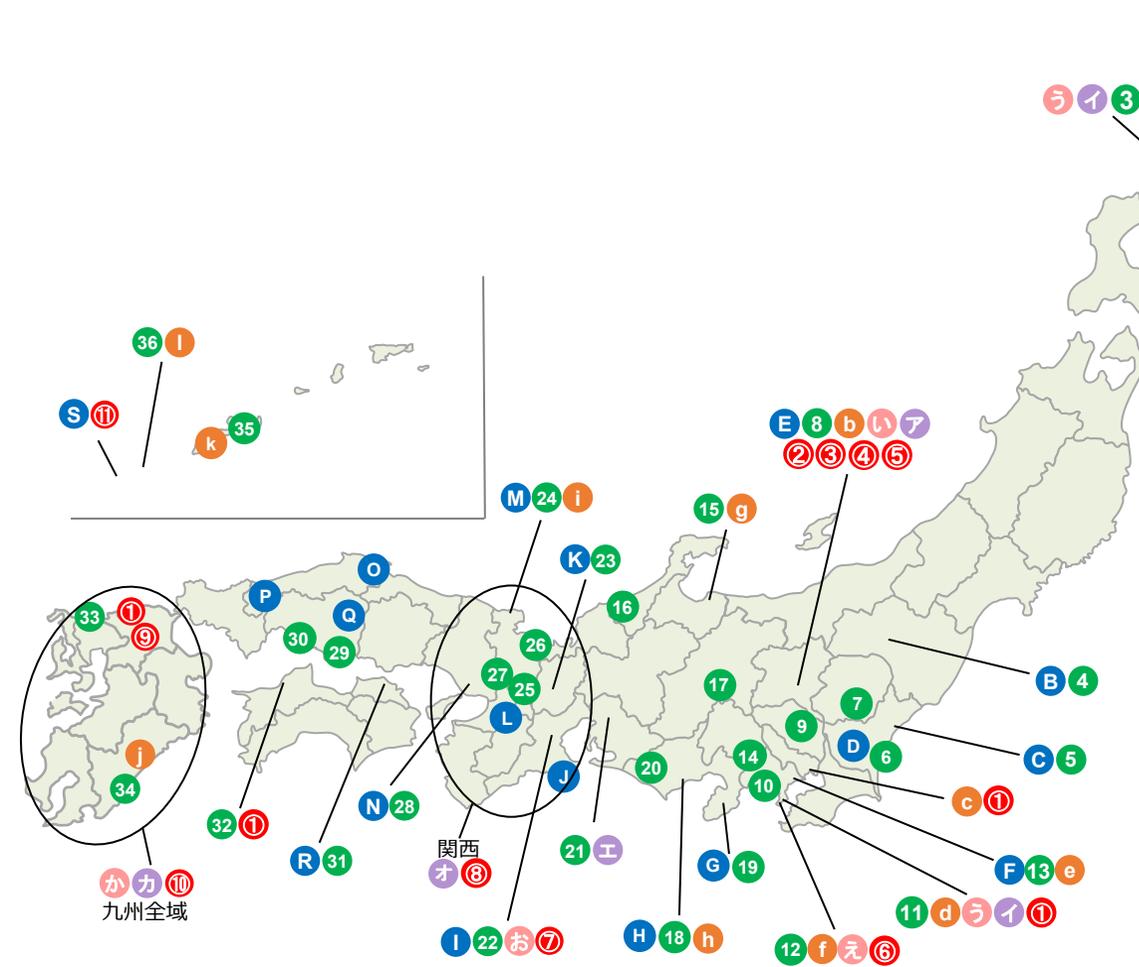


# 令和6年度 日本版MaaS推進・支援事業 11事業について

---

# 地域におけるMaaSのモデル形成



R1 19事業	
A. ひとし北海道エリア	
B. 福島県会津若松市	
C. 茨城県日立市	
D. 茨城県つくば市	
E. 群馬県前橋市	
F. 神奈川県川崎市・箱根町	
G. 静岡県伊豆エリア	
H. 静岡県静岡市	
I. 三重県菟野町	
J. 三重県志摩地域	
K. 大津・比叡山	
L. 京都府南山城村	
M. 京丹後地域	
N. 兵庫県神戸市	
O. 山陰エリア (島根・鳥取)	
P. 島根県大田市	
Q. 広島県庄原市	
R. 瀬戸内エリア	
S. 沖縄県八重山地域	

R6 11事業	
①. 横須賀市・札幌市・旭川市・千歳エリア・台東区・渋谷区・松山市・太宰府市 (※)	
②. 群馬県	⑦. 三重県菟野町
③. 群馬県	⑧. 関西各県・愛知県の一部
④. 群馬県前橋市	⑨. 福岡県
⑤. 群馬県渋川市	⑩. 九州全域
⑥. 神奈川県三浦半島 (※)	⑪. 沖縄県八重山地域 (※)

R2 36事業		
1. 北海道十勝地域	13. 神奈川県川崎市	25. 京都府京都市
2. 北海道洞爺湖周辺	14. 神奈川県南足柄市	26. 京都府舞鶴市
3. 北海道札幌地域	15. 富山県朝日町	27. 大阪府池田市
4. 福島県会津地域	16. 石川県加賀市	28. 兵庫県神戸市
5. 茨城県ひたち園域	17. 長野県茅野市	29. 広島県福山市
6. 茨城県土浦市	18. 静岡県静岡市	30. 広島県広島市
7. 栃木県宇都宮市	19. 静岡県伊豆半島	31. 香川県高松市
8. 群馬県前橋市	20. 静岡県浜松市	32. 愛媛県南予地域・松山市
9. 埼玉県三芳町	21. 愛知県春日井市	33. 福岡県糸島市
10. 神奈川県横浜市周辺	22. 三重県菟野町	34. 宮崎県宮崎市・日南市
11. 神奈川県横須賀市周辺	23. 滋賀県大津市	35. 沖縄県全域
12. 神奈川県三浦半島	24. 京都府京丹後市	36. 沖縄県宮古島市

R5 6事業
ア. 群馬県前橋市
イ. 札幌市・旭川市・横須賀市
ウ. 三重県菟野町
エ. 愛知県春日井市
オ. 関西全域、愛知県の一部
カ. 九州全域

R4 6事業
あ. 北海道芽室町
い. 群馬県前橋市
う. 神奈川県横須賀市、他
え. 神奈川県三浦半島
お. 三重県菟野町
か. 九州全域

R3 12事業	
a. 北海道芽室町	g. 富山県朝日町
b. 群馬県前橋市	h. 静岡県静岡市
c. 東京都大丸有地区	i. 京都府与謝野町
d. 山手線周辺/横須賀市	j. 宮崎県
e. 川崎市、箱根町	k. 沖縄県
f. 神奈川県三浦半島	l. 沖縄県宮古島市

下線部事業は、各年度新規事業 / (※) は、観光促進型で採択

# 各事業の取組概要

---

※公募申請時の資料のため、今後、変更の可能性があります。

# GunMaaSサービスの高度化

車依存社会である本県において、これまでも車利用から公共交通機関利用への転換を図ってきたが、対面販売方式が主流となっている定期券販売のDX化などの利便性向上に向けた新しい取組を行うとともに、P & B Rにおいては、車と公共交通機関のハイブリッド利用を推奨することにより、郊外にある大型商業施設と連携した新サービスの実施を目指す。

協議会の 構成員	【幹事（事務局）】前橋市 東日本旅客鉄道株式会社、一般社団法人群馬県バス協会ほか	
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通維持のための市の財政負担の増加</li> <li>● 都道府県別の自家用乗用車の世帯あたり普及台数（全国4位）</li> <li>● 市民1人あたりの路線バス利用者数（54位／中核市58市中）</li> <li>● 都道府県別の乗合バス利用者数（全国41位）</li> <li>● 都道府県別の1万人あたりの自転車事故件数（9年連続ワースト1位）</li> </ul>	
事業 概要	サービス 開始時期	バス定期券DX化：令和7年1月頃 バス等の乗継による割引サービス：令和7年1月頃 Cogbe連携：令和7年2月頃 モビリティハブ実証実験：令和7年1月頃 新モビリティ利用促進実証実験：令和7年1月頃
	事業エリア	前橋市全域及び隣接地域
	MaaS システム	JR東日本が提供するMaaSプラットフォーム「モビリティ・リングージ・プラットフォーム」を活用し「GunMaaS(グンマース)」としてwebサービスを提供。（MaeMaaSを群馬県下に拡大）
	交通サービ ス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内バス事業者における定期券をGunMaaSで購入</li> <li>● 複数のバス等の利用者に対する割引サービス</li> <li>● シェアサイクルアプリとのGunMaaS連携</li> <li>● 商業連携によるモビリティハブ実証実験</li> <li>● 新モビリティの普及及び利用促進実証実験</li> </ul>
	交通以外の サービス	● モビリティハブ参加商業施設から利用者への特典付与
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車依存社会からの脱却</li> <li>● 公共交通機関利用者の増加</li> <li>● 公共交通事業者の業務の簡素化</li> <li>● 自転車事故の減少</li> <li>● 公共交通機関利用者の行動変容に伴う地域の活性化</li> <li>● 大型商業施設等との商業連携</li> <li>● 当該事業の利用者等の行動変容等に伴う各種データの収集及び分析</li> </ul>	

## 事業イメージ

南北幹線強化とGunMaaS連携によるP&BRサービス・バスDX化

### ③P&BRサービス

既存施設の駐車場空きスペースを活用し、自家用車と公共交通の共創を実現する。

### ②乗継割引DX化

乗継パターン  
①地域連携バス→地域連携バス  
②地域連携バス→デマンド交通

### ①バス定期券DX化

有効期間  
2024.4.1～2024.9.30  
まで有効

バス定期券  
2024/03/09  
07:32:08  
A.A.1#

※成果を見て将来的にハード整備の計画策定・業の交通としてのパーソナルモビリティのモニター実証（R6年度）

パーソナルモビリティ・シェアサイクル等

### 枝の交通の強化

都市間交通：新幹線・電車、都市部、バス

生活施設：SHOP

バス路線の輸送力強化

シェアサイクルの追加→ 認証基盤の拡張→

**GunMaaSプラットフォーム拡張**

←データ分析・活用

### 評価指標

- バス利用者の増加率
- バス定期券のWEB購入割合
- 公共交通事業者の窓口業務の負担軽減割合
- バス等の乗継利用者に対する割引サービス利用者数
- 車通勤から公共交通機関利用通勤への転換者数
- 市の予算に占める公共交通事業者に対する公的負担割合
- モビリティハブ利用者に対し商業施設が発行するクーポン等の利用割合
- 市内における交通事故発生件数

### 今後の方向性

- モビリティハブの実証実験の結果を踏まえ、今後の取組方針を策定
- 新モビリティ利用促進実証実験の結果を踏まえ、今後の取組方針を策定
- マイナンバーカードを活用した年齢定期券の販売に向けた検討を実施

# KANSAI MaaSによる交通事業者連携認証基盤への対応

KANSAI MaaSのデジタル企画乗車券機能を高度化し、多様な交通事業者のQRコード対応改札機が利用可能となる電子チケットをご購入いただける機能を実装する

<b>協議会の 構成員</b>	【協議会代表】大阪市高速電気軌道(株) 【代表正会員】近鉄グループホールディングス(株)、京阪ホールディングス(株)、南海電気鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株) ※その他構成員含め81社で構成（2024年4月1日現在）		事業イメージ  <b>MaaSを通じて提供するサービスを含む事業イメージ</b>
<b>地域 課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多数の交通事業者が存在する大都市圏において、広く活用できるサービス基盤及び組織が存在しない</li> <li>● 2025年万博に向け、関西広域でシームレスな交通サービスが必要</li> </ul>		
<b>事業 概要</b>	サービス 開始時期	2024年12月	
	事業エリア	近畿2府5県(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、三重県) ならびに愛知県の一部	
	MaaS システム	KANSAI MaaS（関西MaaS協議会により構築）	
	交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経路検索機能：一般的機能のほか、協議会構成員（大阪市高速電気軌道、近畿日本鉄道、京阪電気鉄道、南海電気鉄道、西日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道他、協議会構成員グループ事業者等）の静的・動的データ（駅構内図・列車走行位置）に連携する機能を有しており、順次連携を拡大</li> <li>● 電子チケット：協議会構成員の企画乗車券を順次収容</li> </ul>	
<b>事業 目的</b>	交通以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光データベース：関西一円の主な観光施設・イベント情報を掲載</li> <li>● 電子チケット：自治体・観光団体との連携により、関西一円の観光施設入場券等を順次収容</li> </ul>	評価指標
			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協議会会員の参画に関する指標（会員数、アプリ活用状況）</li> <li>● KANSAI MaaSの利用に関する指標（登録者数、MAU/DL比率、チケット事業者数等）</li> </ul>
			今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関西MaaSは関西一円の交通事業者との連携を視野に入れた、日本初の本格的な大規模MaaSとして構築するもので、当面は2025年大阪・関西万博との連携による利用促進を目的としつつ、将来的には広く公共交通の利便性向上に寄与し、多くの交通事業者等が活用できるデータ連携基盤となることを目指している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存の移動を補完する新たな移動需要を創出する（事業者視点）</li> <li>● DX、CO2削減、高齢化等の時代の要請に応える新たな社会インフラとなる（社会的視点）</li> </ul>

# 九州MaaSスタートアップ事業

官民共創の組織として『一般社団法人九州MaaS協議会』を設立し、MaaSアプリを活用して、九州全域で県域・事業者を超えた広域サービスの提供や、観光・イベントなど他分野サービスとの連携・共創、データ利活用に取り組むことで、地域交通ネットワークの利便性・持続性の向上、九州観光の魅力・競争力の更なる向上に貢献する。

協議会の構成員	【会員】九州7県（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）、鉄道・バス事業者（46社局）、船舶事業者（7社局）、その他交通事業者（4社局）、非交通事業者（14社局）、情報連携委員2県（沖縄県・山口県）	
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少・高齢化・担い手の不足等により、交通事業者が大変厳しい事業環境にある中で、地域交通ネットワークの利便性・持続性向上</li> <li>需要が回復傾向にある観光分野における地域間の競争力の向上</li> </ul>	
事業概要	サービス開始時期	2024年8月頃～
	事業エリア	九州7県（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）
	MaaSシステム	my route（トヨタファイナンスサービスが提供するMaaSアプリ）・QRコードによる認証
	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>参画各社の運賃・時刻情報等のデジタル化により、統一サービスPF上で交通手段・ルート・料金等の検索サービスの提供</li> <li>エリア・モード横断的なチケット、交通+目的地におけるサービスの複合デジタルチケットによる利便性の高いサービスの提供</li> <li>乗継を考慮したダイヤや施設整備・相互情報連携等、公共交通間でのフィジカルな連携</li> <li>購入・利用に関するデータの取得と利活用の推進</li> </ul>
	交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的地に関する情報（観光・イベント情報等）の発信</li> <li>観光施設入館券等の販売</li> <li>地域の他サービス・アプリとの連携によるサービス提供</li> <li>広域MaaSを支える人的プラットフォームの育成・構築</li> <li>ノウハウ等の共有によるリソースの効率化</li> </ul>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスPFを活用した運賃・時刻等の情報提供、目的地の情報発信による利便性向上や移動需要の増加を図るとともに、交通事業者のフィジカルな連携とお得で使いやすいデジタルチケットの発売などの事業者の共創による取り組みで、人口減少・担い手不足という逆境下においても、利用者の利便性向上と、交通ネットワークの持続可能性の向上を目指す。</li> <li>コロナ後増加傾向にある国内旅行・インバウンド需要の取り込みに向け、MaaSによる利便性の高い交通サービスを提供することで、広域周遊の実現や消費拡大を図り、競争力の向上と選ばれ続ける九州づくりに貢献する。</li> <li>移動に関するデータの取得・分析・活用により、地域における全体最適な公共交通ネットワーク構築に向けた政策・事業の計画策定や効果検証を行う。</li> </ul>	

## 事業イメージ

### 九州MaaSが目指す事業イメージ（「九州MaaSグランドデザイン」より）

## 評価指標

評価指標目標、測定方法

● アプリダウンロード数 74万	● 販売枚数 5,250枚/月
● 月間アプリ利用者数 10万人/月	● 新規造成件数15件

## 今後の方向性

九州MaaS協議会の会員数を拡大を通じて、エリア・事業連携先を拡大することで、新たなサービスの創出と、データに基づいた改善を実施し、持続可能な交通体系を構築する

- エリア・事業領域を広げた会員の拡大を推進するとともに、官民で連携した健全な運営体制を強化する
- 交通以外の領域との連携を深め、新たなサービスの提供や移動需要の創出を図る
- データを活用したPDCAを回し、取り組みを深化・高度化し、さらに自治体との政策との連携を推進することで、持続可能な交通体系の構築を図る

# モビリティデータを用いた交通計画策定支援システム実証事業

公共交通の維持が課題である中小の基礎自治体が、実質的な地域公共交通計画を効率的に作成できる地域モビリティデータ基盤と地域公共交通計画支援アプリの構築及び実証を行う。併せて、広域自治体に向けて基礎自治体の公共交通状況が把握できるダッシュボードを提供し、基礎自治体への支援・施策を検討するツールとなり得るかを検証する。

協議会の 構成員*	株式会社MaaS Tech Japan、群馬県、群馬県下の基礎自治体、 日本工営株式会社 (※協議会は結成しないが、上記自治体・事業者と連携して本事業を推進)	
地域 課題	<p>&lt;基礎自治体の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通を維持するために地域公共交通計画を策定し確実な実行を進めたいが、計画策定のための経済的・人的リソースが不足し、計画策定が困難もしくは、補助金申請のための計画に留まる傾向</li> </ul> <p>&lt;広域自治体の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回復困難な状況になる前に基礎自治体の支援を進めたいが、客観的な指標をモニタリングする仕組みが無く事後対応になることが多い</li> </ul>	
事業 概要	サービス 開始時期	2025年9月
	事業エリア	群馬県、県下の基礎自治体
	MaaS システム	<p>本事業を通して、地域モビリティデータ基盤と地域公共交通計画支援アプリを構築して提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域モビリティデータ基盤： 交通事業者データ（運行情報、ドライバー情報など）、住民データ（移動傾向、満足度など）、自治体データ（補助金など）を統合</li> <li>地域公共交通計画支援アプリ： （基礎自治体向け機能）地域公共交通の現状診断から施策案までをシンプルに提示 （広域自治体向け機能）標準指標で現状診断を行うことで複数の地域の状況を横比較してモニタリングできるダッシュボードを提示</li> </ul>
	交通 サービス	移動関連データ等に基づいた 分析やデータ活用等のみに取り組み事業のため、当該サービス無し
	交通以外 のサービス	移動関連データ等に基づいた 分析やデータ活用等のみに取り組み事業のため、当該サービス無し
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の維持が課題である基礎自治体が、実質的な地域公共交通計画を効率的に作成し、施策の推進にリソースを割ける状況を実現する</li> <li>広域自治体が域内の基礎自治体の状況を把握し、重要な課題の認識や必要とされている支援をタイムリーに実施できる状況を実現する</li> </ul>	

### 事業イメージ

**本事業での新規開発範囲**

**入力 (Input):**  
 交通事業者: 運行情報、乗車実績、ドライバー数、将来予測  
 運輸局: 交通事業者の情報  
 地域住民: 地域交通満足度・課題移動傾向、等  
 他社(オープンデータ)DB: 人口(推計)情報、施設情報 など  
 MTJ: 指標ロジック設定、課題スコアリング方法、施策・補助金情報更新

**出力 (Output):**  
 進捗状況 (モニタリングチーム (協議会など))  
 基礎自治体情報 (広域自治体)  
 指標、課題、施策提案 (基礎自治体)  
 補助金情報、指標・課題・施策選択、目標値設定 (交通コンサル)

※将来の連携を想定して活用方法を検討する

凡例: Webアプリ画面 | スマートフォンアプリ | データベース | API連携

### 評価指標

- 実証事業としての評価指標：実証時に計測  
地域公共交通計画の作成における可能性、難易度、実質度（目標：現状よりも改善）  
基礎自治体の現状把握における具体性、迅速性（目標：現状よりも改善）
- 実装時の評価指標：実装段階に計測  
地域公共交通計画の策定市町村数（目標：現状10 ➡ 5年後24）

### 今後の方向性

- 仕組みの高度化：実証を繰り返し、より簡単に地域の交通課題を把握し、地域公共交通計画の施策に落としこめるシステムにするための機能改善を実施
- 他県への横展開：群馬県で得た機能・プロセスを他県で適用し検証を実施
- 他システムと連携：Well-being指標を可視化するデータ基盤等と連携、公共交通の維持・発展が他分野へ与える影響等の検証を推進

# GunMaaS3.0～複数交通モードによるサブスクリプションサービス～

JR線、上毛電気鉄道線、路線バス路線、デマンド交通、シェアサイクルが利用可能な複合的サブスクタイプのデジタルフリーパスをGunMaaSアプリで提供する。複数の交通モードを跨ぐサブスクモデル（MaaSレベル3）はほとんど前例がなく、今回本実証に取り組むことでサブスクサービスのニーズや事業性の検証を行う。さらに、ファーストマイル対策として、商業施設の駐車場を活用したパーク&バスライドを実施し、自家用車との共創を図る。これらによりサブスクサービスによる地域交通サービスの持続可能性を検証する。

協議会の構成員	<b>【幹事】群馬県</b> 群馬県新モビリティサービス推進協議会（JR東日本、東武鉄道、上毛電気鉄道、群馬県バス協会、群馬県タクシー協会 他）		<b>事業イメージ</b>
地域課題	①過度な自動車依存（持続可能な地域交通の構築） ②群馬県の中高生の自転車事故件数は全国ワースト1位 ③自動車の保有有無による高齢者の外出率の格差 ④自動車関係費にかかる家計負担の増加		
事業概要	サービス開始時期	①交通モードを跨いだ複合的サブスクパス : 令和7年1月（予定） ②パーク&バスライド（モビリティハブ）実証 : 令和7年1月（予定）	
	事業エリア	群馬県内特定エリア	
	MaaSシステム	群馬県版MaaS「GunMaaS」を活用し、サブスクバス及パーク&バスライド駐車場チケットの電子チケットを提供	
	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道、バス等の複数交通モードを跨ぐサブスクリプションタイプの電子チケット（サブスクバス）の提供</li> </ul>	
事業目的	交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 商業施設と連携したパーク&amp;バスライド（モビリティハブ）</li> </ul>	<b>評価指標</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自家用車への過度な依存から公共交通中心の社会への転換。特に日常の通勤、生活移動における自動車利用からの転換促進。</li> <li>● サブスクリプションタイプの電子チケットの効果及び事業性の検証</li> <li>● ファーストマイル対策としての自動車との共創についての検証。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県民の公共交通充足度</li> <li>● 公共交通（鉄道・乗合バス）利用回数</li> <li>● サービス利用による行動変容割合</li> <li>● P&amp;BR施設の利用割合</li> <li>● 連携している商業施設数</li> </ul>	
			<b>今後の方向性</b>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本実証結果を踏まえ、自家用車から公共交通へ転換するための施策を検討、実行する</li> </ul>

# らくらく交通サービス(MaaS)推進事業

経路検索とデマンドシステム予約との連携を行い、住民の公共交通利用の利便性向上を図る。マイナンバーカードと交通系ICカードを連携させ、交通系ICカードで決済することで、路線バス、デマンド交通及びタクシーのいずれの交通手段においても、利用者の属性に応じ自動的に割引が受けられるサービスを提供する。

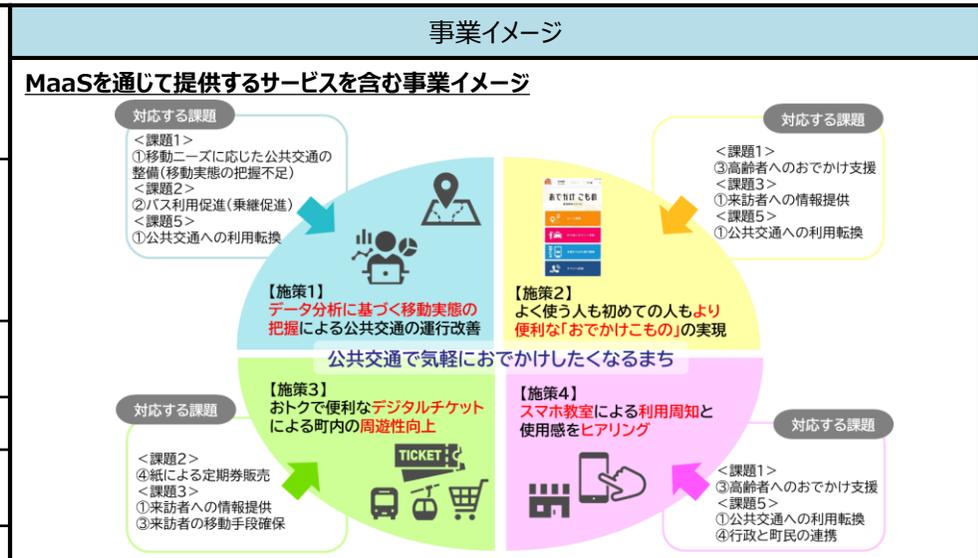
協議会の 構成員	【幹事】渋川市、群馬県、群馬県新モビリティサービス推進協議会		事業イメージ 	
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デマンド交通の運行区域外への外出時の乗換検索が分かりにくい</li> <li>● バス事業者ごとに異なる割引方法による利用者の利便性</li> <li>● 高齢者タクシー利用助成における申請及び利用に係る利便性</li> <li>● 交通網再編に向けた、市民の移動実態等のデータ不足</li> </ul>			
事業 概要	サービス 開始時期	令和6年10月（予定）	タッチ認証決済（属性認証） 路線バス    デマンド交通    タクシー マイナンバーカード × 交通系ICカード連携 ID認証システム ①交通系ICカードID番号 ②居住地 ③生年月日 標準会員    タッチ会員 登録    登録支援	
	事業エリア	群馬県渋川市全域		
	MaaS システム	群馬県版MaaS「GunMaaS」を活用		
	交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リアルタイム経路検索サービスの提供</li> <li>● 経路検索連動デマンド予約サービスの提供</li> <li>● マイナンバーカードと交通系ICカードの連携によるタッチ認証の仕組み活用し、キャッシュレスの推進及び年齢に応じた段階的な割引率による割引サービスの提供</li> <li>● スマートフォンを保有しないタッチ会員向けのマイナンバーカードと交通系ICカードの連携登録支援サービスの提供</li> </ul>		
	交通以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者の福祉の向上や生活支援等を目的とした助成制度を統合し、本サービスで提供</li> </ul>		
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目的地までのデマンド交通を含む経路検索の利便性向上</li> <li>● バス・タクシー等利用助成制度における申請及び利用に係る利便性の向上</li> </ul>		評価指標	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>● MaaS登録者数</li> <li>● サービス利用件数</li> </ul>	
			今後の方向性	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実証を行っている自動運転バスの決済におけるMaaS活用可能性の検討</li> </ul>	

# データ活用による菰野町MaaS「おでかけこもの」機能高度化事業

～公共交通で気軽におでかけしたくなるまちを目指して～

AIオンデマンド乗合交通（以下、のりあいタクシー）利用者数：月平均1,500人を超える「おでかけこもの」の利用データ分析や、利用者からの改善要望に基づき、公共交通の最適な運行の検討や誰でも使いやすい「おでかけこもの」の利便性向上を図り、「公共交通で気軽におでかけしたくなるまち」の実現を目指す。

協議会の 構成員	菰野町【幹事】、近畿日本鉄道(株)、三重交通(株)、(有)尾高、御在所ロープウェイ(株)、国土交通省中部運輸局三重運輸支局、三重県地域・交通部交通政策課、名古屋大学大学院環境学研究所 【オブザーバー】菰野町観光協会、NTTコミュニケーションズ(株)東海支社	
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動ニーズに応じた公共交通の整備（移動実態の把握不足）</li> <li>● 高齢者へのおでかけ支援</li> <li>● バス利用促進（のりあいタクシーとの乗継促進、定期券デジタル化）</li> <li>● 来訪者への公共交通に関する情報提供・移動手段確保</li> <li>● 行政と町民や交通事業者との連携による公共交通の維持</li> </ul>	
事業 概要	サービス 開始時期	令和6年12月実証実験実施 令和7年3月運用開始
	事業エリア	菰野町全エリア
	MaaS システム	菰野町地域公共交通会議とNTTコミュニケーションズ(株)東海支社が共同開発
	交通 サービス	<b>【提供予定のサービス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● データ活用による公共交通の運行改善</li> <li>● 利用者の属性に応じた公共交通情報の提供</li> <li>● バス定期券・フリー乗車券デジタルチケットの販売</li> </ul> <b>【提供済サービス（抜粋）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● のりあいタクシーを含めた複合経路検索</li> <li>● のりあいタクシーの検索、予約、事前決済（d払い）</li> <li>● 主要なのりばに最適化された運行情報の提供</li> <li>● 観光用eモビリティの貸出予約</li> </ul>
交通以外 のサービス	<b>【提供予定のサービス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光デジタルチケットの企画・検討</li> <li>● 高齢者や学生向けのスマホ教室</li> </ul> <b>【提供済サービス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 町内のイベント情報発信機能</li> </ul>	



**評価指標**

評価指標、目標、測定方法などを記載

- コミバス等の見直し検討に活用するための収集データ件数 : 2件
- 「おでかけこもの」TOPへのWebアクセス数 : 3,400件/月
- コミバスのフリー乗車券のデジタルチケットの購入数 : 5枚/年
- のりあいタクシー月間利用者数 : 1,760人
- コミュニティバス月間利用者数 : 3,870人
- のりあいタクシーの長距離利用者数割合の減少率 : 210人
- 「おでかけこもの」経由での観光デジタルチケット購入アプリへのアクセス数 : 10回/年
- 観光デジタルチケットの購入数 : 5枚/年

**今後の方向性**

- 継続的に機能追加・改善を行い、町内の「公共交通で気軽におでかけしたくなるまち」の実現や近隣自治体と連携したMaaSシステムの共同利用を目指す。
- データ連携基盤（都市OS）の構築を目指して、データ活用の第一ステップとして「おでかけこもの」を位置づける。

# 近未来MaaS福岡モデル創出事業

国内外の交通の結節点であり多様な交通ネットワークが形成されている福岡県において、民間事業者が保有するデータ連携基盤を活用し、コストを抑えながらICカードデータや運行データを人流データ等と組み合わせて分析することで、交通政策立案（EBPM）や交通事業の最適化を図る。また、市町村におけるMaaSの取組や交通情報のオープンデータ化を推進する。今後、本事業で構築した事業スキームをベースに県内の他エリアへ広げ、交通事業の最適化につなげる。

県が主体となって進める会議	【検討会議】日田彦山線沿線BRTエリアMaaS検討会議、久留米エリアMaaS検討会議、有明エリアMaaS検討会議、糸島エリアMaaS検討会議、筑紫エリアMaaS検討会議、宗像～新宮 国道3号沿線エリア検討会議 【事務局】福岡県	
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口減少や運転手等の人材供給不足による公共交通の利用減少</li> <li>● データの一元的な把握・管理・活用および地域間・官民での有機的な連携の不足</li> </ul>	
事業概要	サービス開始時期	2023年8月～ ※補助対象事業は2024年7月以降
	事業エリア	<b>【2023年度～事業継続中】</b> 日田彦山線BRT沿線エリア…東峰村、添田町、日田市（大分県） 久留米エリア…久留米市 有明エリア…大牟田市、柳川市、みやま市 <b>【2024年度事業開始予定】</b> 糸島エリア…糸島市、福岡市、唐津市（佐賀県※予定） 筑紫エリア…太宰府市、筑紫野市、春日市、大野城市、那珂川市 宗像～新宮 国道3号沿線エリア…新宮町、古賀市、福津市、宗像市
	MaaSシステム	（導入済み） My Route(民間事業者が提供するアプリ)
	交通サービス	（導入済み） オープンデータと連携した経路検索の提供 （導入済み） デジタル企画乗車券の販売
	交通以外のサービス	<b>（新規導入）</b> 地域ごとの移動実態を把握、分析し施策へ反映する環境の実装（民間事業者保有のモビリティデータ連携基盤を活用） （導入済み） MaaSアプリと他アプリやサービス間連携による利便性向上 （他事業で実施） 地域の観光・イベント情報の発信
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データの分析結果を地域の行政機関や交通事業者が一体となって活用し、施策に反映できる仕組みの構築</li> <li>● 客観的・具体的な根拠に基づく公共交通政策の立案（EBPM）</li> <li>● 交通ネットワークの最適化</li> <li>● 移動関連サービスの開発・提供</li> <li>● 交通以外の分野における地域課題の解決に資する取組の展開</li> </ul>	

## 事業イメージ

### ～ 福岡県のMaaS戦略 ～

今回申請

MaaSアプリ上で経路検索が可能

交通情報のオープンデータ化

分析に必要な不可欠な基礎データ

新たなモビリティ(AIオンデマンド)の導入支援

**MaaS実証実験**

- ・支援対象エリア拡大
- ・MaaSアプリの利用促進（デジタル乗車券、調査・分析、広報周知）

**モビリティデータの利活用による地域の課題抽出、対策検討**

データに基づく現状・課題分析を施策へ反映

モビリティデータ可視化ツールによる移動傾向の把握

**効果**

- ・スマホ一つで、目的地までストレスなく快適な移動が可能
- ・おでかけ需要の創出

（例）  
 ・最適な移動手段を検索・予約、一括決済できる  
 ・乗車券とお得なクーポンがセットになることで、目的に合った移動促進に

**最適な交通モードを検討・実現（フィジカル連携）**

（例）  
 ・市町村を跨ぐコミュニティバスの広域運行が進むことで、隣町の病院や商業施設まで乗り継ぎが不要に  
 ・官民連携により、タイヤ調整やバス乗入れなどが進み、乗り換えがスムーズに

**他分野連携により、地域交通の価値を高める**

（例）  
 ・公共交通利用によるCO2排出削減効果を可視化・分析し、県民に周知することで、公共交通の利用を促進

～子どもから高齢者まで、誰もが行きたいときに、行きたい場所へ、快適に移動できる社会へ～

地域公共交通の利便性向上、利用拡大、維持・確保

交流人口拡大による地域経済の活性化

## 評価指標

- 福岡県内の乗合バス利用者数（269,132千人）
- MaaSアプリ利用者数（564,505人）
- データ利活用実施市町村数（5市町村）

## 今後の方向性

- 他エリアへのMaaS導入、拡大
- MaaSアプリの利用者増加
- 広域でのモデルケース創出、他分野との連携の深化
- データ、ノウハウの九州全体（九州MaaS）への展開



# Universal MaaS～誰もが移動をあきらめない世界へ～

移動躊躇層(※)が抱えている課題を、[Universal MaaSのコンセプト](#)に従って利用者および自治体、地域、事業者の視点から解決し、行動変容を促すことにより、観光分野を含めた新たな移動需要を喚起する。これまでの実証実験・社会実装を経て得た課題の解決を目指し、今年度は更に宿泊/観光施設（観光フリーパス含む）との連携等、以下内容でサービス対象を広げ、新たな社会的価値・経済的価値の創造を行う。

(※)障がいや高齢など、何らかの理由により移動を躊躇している方々

協議会の 構成員	<p>【顧問】中央大学研究開発機構 秋山哲男研究室 【幹事】ANAグループ</p> <p>【協力】交通エコロジー・モビリティ財団 【学術指導】東京大学 本間裕大 研究室</p> <p>【事業者】&lt;交通事業者&gt;ANA、京急電鉄、JR北海道、札幌市営地下鉄、旭川中央交通、旭川電気軌道、道北バス &lt;プラットフォーム&gt; 手間いらず、日立製作所(移動制約者ご案内業務支援サービス)、明治クッカー</p> <p>【自治体・関連団体】&lt;横須賀エリア&gt; 横須賀市、LocaliST(横浜国大発ベンチャー) &lt;札幌エリア&gt; 札幌市 &lt;千歳エリア&gt; 千歳観光連盟 &lt;旭川エリア&gt; 旭川市、旭川商工会議所、旭川観光コンベンション協会、カムイ大雪バリアフリー研究所 &lt;東京エリア&gt; 台東区、渋谷区 &lt;松山エリア&gt; 松山市(松山ユニバーサル・ツーリズム分科会) &lt;福岡エリア&gt; 太宰府市、バリアフリーネットワーク会議</p> <p>【協議会の構成員以外】JR東日本、東京モルレル、MKタクシー、他 <b>数十社[者]</b></p>	
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者および自治体、地域、事業者の視点から、移動に困っている人々の課題解決を行い、行動変容を促すことで新たな移動需要を喚起する。</li> </ul>	
観光分野 における 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介助やサポートを必要としている利用者への対応が、自治体・地域・事業者毎に異なっており、また各交通事業者や施設管理者の連携方法が定まっていないため、利用者側、事業者側、双方の負担となってしまう。</li> </ul>	
事業 概要	サービス 開始時期	一部地域で社会実装完了。引き続き、課題解決・追加機能の実証実験を継続するとともに、空路・航路や複数の鉄道路線を利用したエリア間移動への対応を目指す。
	事業エリア	連携自治体の管轄内、連携事業者の営業範囲内
	観光 サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光地および交通/観光/宿泊施設の介助手配・受託</li> <li>● &lt;対 お客さま&gt; 希望するルート、観光地を選択・保存し、旅程管理や介助手配状況確認を可能とする情報・機能</li> <li>● &lt;対 事業者&gt; 介助を必要とするお客さまが支援内容を事業者へ依頼し、事業者が回答するコミュニケーション機能</li> </ul>
	MaaSシステム	(1) <a href="#">一括サポート手配</a> (2) <a href="#">ユニバーサル地図/ナビ</a>
	観光以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 徒歩エリアの移動を補助するユニバーサル情報提供機能</li> <li>● 交通結節点の移動支援、目的地内の周遊支援</li> <li>● 各種移動支援サービスや機能との連携 (<a href="#">詳細リンク</a>)</li> </ul>
交通機関 又は観光 施設に係 るフリーパス	各観光施設におけるフリーパスと、Universal MaaSが提供するサービス「一括サポート手配」「ユニバーサル地図/ナビ」との連携を予定（詳細は調整中）	

## 事業イメージ

**事業イメージ（MaaSを通して提供する観光サービスを含むこと）**

交通移動/宿泊/観光サービス利用時

情報収集が大変

手配依頼に時間がかかる

介助手配が大変

徒歩移動時

トイレはある？

バリアフリー対応している？

自律的な移動がむずかしい

→ door to door の移動

誰もが快適にストレスなく移動を楽しめる社会の実現

## 評価指標

[指標] (1) 一括サポート手配の対象事業者拡大  
(2) ユニバーサル地図/ナビの社会実装地域の拡大

[目標] (1) 各事業者/プラットフォームとシステム連携  
(2) ユニバーサル地図/ナビの認知度向上と利用者数増加

[測定方法] (1) 各プラットフォームとの接続インターフェースの構築完了  
(2) 社会実装への道筋のついた地域 = 前年比 10件増

## 今後の方向性

(1) 一括サポート手配：連携交通事業者を拡大し、各地域内外の人流増に繋がる基盤を構築

(2) ユニバーサル地図/ナビ：導入エリアを拡大、各地域の課題解決に資する情報を充実化

⇒ (1) (2) を実施しつつ、対象となる移動躊躇層の幅を更に広げ、利用者増を目指す

# 観光型MaaS「三浦newcal」の高度化事業（深度化と広域化の推進）

三浦半島を中心に344団体の観光事業者や自治体などが参加し、年間13万人が利用する観光型MaaS「三浦newcal」基盤を高度化し、①**移動・観光以外の生活領域へ機能深度化**と、②**三浦半島以外の京急沿線へのエリア広域化**を同時に目指すことで、観光客や地域住民の外出機会の創出、観光消費の拡大、公共交通へのシフトなど地域経済の活性化を図る。

協議会の構成員	【幹事】京浜急行電鉄(株)、三浦市、ジョルダン(株)、日本テレビ放送網(株)、(株)さとゆめ、(株)京急アドエンタープライズ、newcalファミリー（三浦半島の観光、交通事業者（以下記載）、4市1町、神奈川県など344団体が参加） 【交通事業者】京急電鉄、京急バスグループ、京急タクシーグループ、スバル興業、トライアングル、葉山マリーナ、三浦観光バス、東京湾フェリー	
事業目的	①MaaSを通じた公共交通へのモーダルシフトにつながる行動変容 ②観光、滞在など移動以外のサービス一元化による地域経済の活性化 ③MaaSによる移動・滞在データ活用を通じたエリアマネジメント推進	
観光分野における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 繁忙期集中による交通渋滞</li> <li>● 地域一体での情報発信の不足</li> <li>● コンテンツ不足で短い滞在時間</li> </ul>	
事業概要	サービス開始時期	【高度化事業実施】2024年8月～2025年2月 【参考】2021年10月：三浦newcal開始
	事業エリア	神奈川県三浦市、横須賀市、葉山町、逗子市、鎌倉市
	観光サービス【高】は、本事業にて高度化実装	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【高】地域共通の予約・決済・デジタルチケット基盤の改修</li> <li>● マルチモーダル経路検索機能</li> <li>● 【高】経路検索、マップ機能の利便性改善</li> <li>● 【高】予約機能の高度化</li> <li>● 【高】地域動画WEBメディアの開設</li> <li>● 【高】広域展開できるスタンプラリー機能の拡充</li> <li>● 【高】ユーザフレンドリーなサイトUI、UXの改善</li> </ul>
	MaaSシステム	三浦newcal（京急とジョルダンが開発するMaaS基盤を高度化）
	観光以外のサービス【高】は、本事業にて高度化実装	<ul style="list-style-type: none"> <li>● シェアモビリティ網構築活動(newcalモビリティパッケージ)</li> <li>● 【高】タクシー配車アプリとのAPI連携</li> <li>● 【高】顧客の声（VOC）を集める口コミ/アンケート機能</li> <li>● 【高】品川・上大岡WE Bサイト開設（全7エリア化）</li> <li>● 【高】データ活用、分析基盤の開発</li> </ul>
交通機関又は観光施設に係るフリーパス	京急電鉄が提供するおトクなきっぷ（みさきまぐろなきっぷ、よこすか満喫なきっぷ、葉山女子旅なきっぷ、三浦半島まるごとなきっぷ、東京湾フェリーなきっぷ）	

### 事業イメージ

**移動プラットフォーム**

「移動+住・働・楽・学」を一元化

京急沿線地域共通MaaS「newcal」

予約 決済 デジタルチケット マルチモーダル経路検索

地域共通の予約・決済・デジタルチケット基盤の改修  
経路検索、マップ機能の利便性改善  
タクシー配車アプリとのAPI連携  
データ活用、分析基盤の開発

**地域共通の予約・決済・デジタルチケット基盤の改修**

**地域動画WEBメディアの開設**

**広域展開できるスタンプラリー機能の拡充**

**品川・上大岡WE Bサイト開設（全7エリア化）**

	2023年度実績	2024年度	2025年度	2026年度
①参加団体数(累計)	344団体	360団体	380団体	400団体
②地域拠点数(累計)	15拠点	20拠点	25拠点	30拠点
③MaaS利用者数(年)	125,000人	130,000人	140,000人	150,000人
④MaaS会員数(累計)	130,000人	150,000人	175,000人	200,000人
④モビリティ拠点数(累計)	92ポート	110ポート	130ポート	150ポート

### 今後の方向性

- 「リアルとデジタルの一元化」、「観光と生活領域の一元化」、「交通と滞在サービスの一元化」など、沿線広域におけるサービスのシームレスな利用環境を整備し続けることを通じて、MaaSレベル4（社会目標の統合）を達成し、沿線広域での統合されたサービスとしての「EaaS（ENSEN as a Service）」の構築を目指す。